

手をつなごう2010

岡山県立東備支援学校
支援部だよりNO. 9

アセスメント紹介 ③

アセスメント紹介第3弾は認知に関する検査をご紹介します。認知に関する検査はWISC-Ⅲ・K-ABC・DN-CAS等がありますが、それらより安価・簡易な検査として活用されている検査です。就学前段階が主ですが、小学校低学年や特別支援学級でも使用できる場合があると思われます。

認知・言語促進NCプログラム

*NC=「のぞみクリニック」

【特徴】

- ・6ヶ月～6歳に適用できます。
- ・「発達アセスメント」を実施し、「活用マニュアル」によって発達タイプ別にプログラムを立てることができます。
- ・「指導プログラム」には個別の課題例、「認知・言語・運動プログラム」（発達障がい児のためのグループ指導）ではグループ学習の課題例が豊富に載っており、参考になります。

【検査方法】

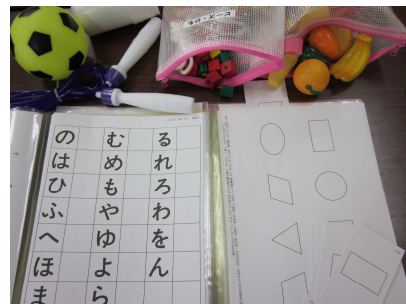
- ・直接検査や観察によって調べます。
- ・10の領域にわたって調べます。

1 視覚操作、＜言語＞2 理解・3 表出、＜記銘＞4 視覚・5 聴覚、＜文字＞6 読字、7 書字、8 数、＜運動＞9 微細・10 粗大

- ・発達記録チャートに通過項目（＋）・未通過項目（－）・芽生え項目（±）を記入していきます。

【購入金額】

認知・言語促進プログラム（書籍3冊セット）	6,825円
スターターズキット	26,565円
基本セット（書籍＋キット）	33,390円



*スターターキットがあれば便利ですが、身近な道具を使ったりマニュアルからのコピーでカードを作成したりという形でも可能です。

【支援への生かし方】

発達記録チャートに記入することで、どのタイプ（Hタイプ・Lタイプ・Mタイプ・Zタイプ）か目安がわかります。Hタイプなら下限アップ、Lタイプなら上限アップなど、おおまかな戦略も立てやすくなります。できるか、できないかだけでなく、芽生え反応（できかかっている部分）もチェックするようになっていますが、そこが変容しやすい部分とも言えるので目標も立てやすくなるのではないのでしょうか。

検査結果を保護者との共通理解にも使うことができます。例えば、保護者から「文字が書けるようにしてほしい」と要望が出された場合でも、「書字」の領域をチェックし、なぞり書きや模写の力をつけることが段階的に必要であることなどを説明することによって、理解が得やすくなるかもしれません。

また、「記録」の領域を調べることによって、聴覚記録は1容量、視覚記録が3容量ということが分かったら、「コップと上靴と帽子を持って行きましょう」と指示するときに、言葉だけでなく絵カードなどを示した方がよいということが分かります。

「指導プログラム」には、「数」の概念を育てるためには例えば「お買い物ごっこ」「カードめくり」がよいなど、具体的な指導課題例がたくさん載っています。また、認知・言語発達促進に関して集団指導の課題例が挙げられている点も特色です。

図1-5 Hタイプ

項目	1-10-1-1	1-10-1-2	1-10-1-3	1-10-1-4	1-10-1-5
1. 視覚検査	1	2	3	4	5
2. 聴覚検査	6	7	8	9	10
3. 言語検査	11	12	13	14	15
4. 運動検査	16	17	18	19	20
5. 社会性検査	21	22	23	24	25
6. 知覚検査	26	27	28	29	30
7. 書字検査	31	32	33	34	35
8. 計算検査	36	37	38	39	40
9. 記憶検査	41	42	43	44	45
10. 注意検査	46	47	48	49	50

Hタイプ

図1-6 Lタイプ

項目	1-10-1-1	1-10-1-2	1-10-1-3	1-10-1-4	1-10-1-5
1. 視覚検査	1	2	3	4	5
2. 聴覚検査	6	7	8	9	10
3. 言語検査	11	12	13	14	15
4. 運動検査	16	17	18	19	20
5. 社会性検査	21	22	23	24	25
6. 知覚検査	26	27	28	29	30
7. 書字検査	31	32	33	34	35
8. 計算検査	36	37	38	39	40
9. 記憶検査	41	42	43	44	45
10. 注意検査	46	47	48	49	50

Lタイプ

図1-7 Mタイプ

項目	1-10-1-1	1-10-1-2	1-10-1-3	1-10-1-4	1-10-1-5
1. 視覚検査	1	2	3	4	5
2. 聴覚検査	6	7	8	9	10
3. 言語検査	11	12	13	14	15
4. 運動検査	16	17	18	19	20
5. 社会性検査	21	22	23	24	25
6. 知覚検査	26	27	28	29	30
7. 書字検査	31	32	33	34	35
8. 計算検査	36	37	38	39	40
9. 記憶検査	41	42	43	44	45
10. 注意検査	46	47	48	49	50

Mタイプ

図1-8 Zタイプ

項目	1-10-1-1	1-10-1-2	1-10-1-3	1-10-1-4	1-10-1-5
1. 視覚検査	1	2	3	4	5
2. 聴覚検査	6	7	8	9	10
3. 言語検査	11	12	13	14	15
4. 運動検査	16	17	18	19	20
5. 社会性検査	21	22	23	24	25
6. 知覚検査	26	27	28	29	30
7. 書字検査	31	32	33	34	35
8. 計算検査	36	37	38	39	40
9. 記憶検査	41	42	43	44	45
10. 注意検査	46	47	48	49	50

Zタイプ



津田望監修（明示図書）